

伝承鳩

文字でつなぐ人の心

(No.3)

別れのことば

三年前の四月、そびえ立つ学び舎に集い、中学校生活を迎えました。

見るもの、聞くもの、感じるもの、すべてが新鮮だった一年生。後輩ができたことで、規律ある態度が取れるようになってきた二年生。そして、気づけば三年生。どんな活動にも「最後の」という言葉がつく年となっていました。

手がボロボロになるまで縄を回し続けた。怪我をしても無理をして走ったりと、皆が勝利のために身を尽くして優勝を目指した体育祭。朝も放課後も時間の許す限り歌い続け、何度も歌ううちに心が一つとなった合唱祭……。もう明日から、この鳩中へ登校しないのだと思うと、僕は寂しさで胸が張り裂けそうです。

先生方からは授業だけでなく、日々の生活態度や集団行動の大切さなど、多くのことを学びました。今まで多くの迷惑をかけたしまいました。今までも僕たちのことを忘れないでください。これから先、まだまだ辛いことは多々あると思いますが、どんな

困難も乗り越えていくつもりです。

そして、僕たちを一番近くで支えてくれたのは、他でもない自分自身の家族です。僕たちのことを一番に考え、どんなときでもしっかりと話を聞いてくれました。日頃はなかなか言えませんが、伝えたい言葉があります。「今までありがとうごさいます。そしてこれからもよろしくお願いします」

また、何よりも三年生の皆。これから先、別々の道へ歩き出しますが、この三年間、楽しい日々、辛い日々、一緒に過ごしてきた時を忘れず、前に進んでいきましょう。三年間、楽しい毎日を本当にありがとう。

そして、在校生の皆さん。明日以降、僕たちの姿はここにありません。ですが、気持ちはいつまでも残り続けます。ですから、どうか僕たちの残した鳩中の伝統ある校風を継承して行ってください。豊かな自然に囲まれたこの鳩山中学校を皆さんの手に委ねます。残りの学校生活を悔いのないよう過ごしてください。その思いは次の代、またその次の代へと受け継がれていくことを願っています。

鳩山中学校卒業生 福島 遼己

- ◆このコーナーではご家族・ご友人などに向けた「作文」「手紙」「作品」などをご紹介します。
- ◆お寄せいただいた内容により、掲載を見送るか、編集のご相談をさせていただくことがあります。また、「みんなの広場」の投稿欄などに掲載する場合もあります。何卒ご容赦ください。

訂正とお詫び

「広報はとやま」2月号、23頁の「法務局における登記相談の予約サービス」内、「さいたま地方法務局坂戸出張所」の電話番号「048-281-0342」は「049-281-0342」の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

人口と世帯

3月1日現在、()は対前月比

人口	14,453人	(- 4)
男	7,130人	(- 4)
女	7,323人	(± 0)
世帯	5,879世帯	(+ 9)
2月の出生数	1人	

4月の納税・納付

国民健康保険税	(随 時)
後期高齢者医療保険料	(随 時)
介護保険料	(随 時)

●納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

広報写真で振り返る町の歴史 ⑭

平成 11年8月 28日
第1回鳩山町防災訓練

自主防災組織の協力の下、炊き出し訓練、ヘリコプター救出訓練、ライフライン復旧訓練など、実戦さながらの訓練が行われた様子が伝えられています。【平成 11年 10月 (No.326) 号より】



ヘリコプター救出訓練

編・集・室

毎年、鳩山中学校の卒業式ではもらい泣きをしてしまいます。自分が親の立場になったからでしょうか。立派に育った彼らの力強く凛々しい立ち振る舞いや、親や周囲への感謝の言葉に、「成長」が垣間見えるからかもしれません。

そんな彼らの新たなスタートに送られる、数多くのエールの言葉たち。そこに込められた思いと、笑顔で巣立つ彼らに、いつも希望をもらっています。⑭